

- ✓ 第4回ジャパンSDGsアワード 公募
- ✓ 「食品ロス削減推進大賞」の募集
- ✓ 事業活動報告、SEFからのお知らせ



トピックス

第4回ジャパンSDGsアワード 公募スタート

外務省では8月5日より、「第4回ジャパンSDGsアワード」の公募を開始しました。

ジャパンSDGsアワードは、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた企業・団体等の取組を促すため、2017年6月のSDGs推進本部において創設され、SDGs達成に資する優れた取組を行っている企業・団体等を、SDGs推進本部として表彰するもので、NGO・NPO、有識者、民間セクター、国際機関等の広範な関係者が集まる選考委員会の意見を踏まえて決定されます。

昨年の第3回には過去最多となる348の企業・団体からの応募があり、最優秀賞である推進本部長(内閣総理大臣)賞には福岡県北九州市の「魚町商店街振興組合」が選定、また推進副本部長賞には企業2社、自治体・NPO各1団体が選ばれたほか、特別賞としてSDGsパートナーシップ賞に6団体が選定されました。

エントリー締切は9月30日(水)まで。「既にSDGsの達成に向けた取組を実践している」という事業者の皆様はぜひ、自社の取組みについて客観的な評価を受ける機会として、また自社の取組みを社会に情報発信する機会として、エントリーを検討してはいかがでしょうか。



出典：外務省HP クリックすると大きく表示されます

詳しくは下記リンクから外務省ホームページをご覧ください
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/award/index.html>

トピックス

「食品ロス削減推進大賞」募集スタート(消費者庁)

消費者庁は8月26日、食品ロス削減の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、今年から新たに「食品ロス削減推進大賞」を創設し、募集を開始しました。

この賞は、昨年10月に施行された「食品ロス削減推進法」第11条の規定に基づき、今年3月に制定された基本方針の中で、基本的施策の一つとして示されていたもので、食品ロスの削減に取り組むインセンティブを与えるとともに、国民に取組の重要性が広く認知され、各地域における取組が促進されることを狙い、創設されたものです。

審査は、食品ロス削減の推進に関する有識者等で構成される「食品ロス削減推進大賞選定会議」において、選考基準に基づいて行われます。

募集締切は10月30日(金)必着にて、消費者庁ホームページ(下記リンク)内の応募フォームから申込可能です。ぜひ詳細をご確認いただき、自社の食品ロス削減の取組を広く周知する機会としてご活用ください。

募集の対象(自薦・他薦は問いません)

- 食品ロス削減の推進に資する取組を実施しており、消費者等に対し広く普及し、波及効果が期待できる下記の活動を行った団体等
- (1)食品ロス削減に関する普及啓発、教育及び推進等に関する活動
 - (2)食品ロスに関する調査・研究等の活動
 - (3)食品ロスに関する情報の収集及び提供等の活動
 - (4)食品ロス削減のための活動
 - (5)上記に準ずる先進的・画期的な活動

詳しくは下記リンクから主催団体ホームページをご覧ください
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/case_002.html

2020年度 ゼロエミッション研究会を開催！

実践で学ぶ！食品ロスの削減と持続可能な食品リサイクルループの構築

SEFでは、持続可能な循環型社会をめざし、排出事業者の皆様を対象に、廃棄物の適正処理（環境負荷の低減と法令遵守）の推進を図るための勉強会として「ゼロエミッション研究会」を2016年度に発足し、2017年度は12回の講演とワークショップを開催しました。

2019年度は、持続可能な食品リサイクルループの構築に関する知識やノウハウを学びながら、愛知県名古屋市を舞台に、食品リサイクル法に基づく再生利用事業計画の認定を受けて、複数の排出事業者が協働で取組む食品リサイクルループの構築をゴールとした取組みを企画し、5回の勉強会と現地見学会を経て、史上初となる外食事業者5社連携による飼料化の食品リサイクルループ認定取得を実現しました。

そして、2020年度は新たに群馬県東部での食品リサイクルループの構築をめざすことに加え、食品ロスの削減、廃棄物全般の課題整理と解決策の検討といったテーマも取り上げ、排出事業者の皆様が主体的に廃棄物・資源循環の課題解決に向かうための機会と場をご提供いたします。

講師陣には、SEF理事の百瀬則子氏（ワタミ株式会社）、志岐秀明氏（株式会社ガイアドリーム）に加え、今期からSEFの顧問に就任された東京農業大学名誉教授の牛久保明邦先生もご登壇予定で、更なる内容の充実を図り参加者の皆様をお迎えいたします。

なお、新型コロナウイルスの拡大防止に最大限配慮したうえで開催しますが、勉強会にはWeb会議システム（Google Meetを利用）でのご参加も承ります。



昨年度の勉強会の様子

2020年度ゼロエミッション研究会 概要

【日程】

<勉強会> 5回開催

- ・第1回：2020年09月17日（木）15:00～18:00
- ・第2回：2020年10月22日（木）15:00～18:00
- ・第3回：2021年01月21日（木）15:00～18:00
- ・第4回：2021年02月18日（木）15:00～18:00
- ・第5回：2021年03月25日（木）15:00～18:00

<見学会> 群馬県にて実施

- ・2020年11月12日（木）13:00～18:00

【勉強会 会場】

アットビジネスセンター東京駅八重洲通り603会議室
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-9-8
八重洲通ハタビル 5・6階 TEL：03-6627-2151
<アクセス>

■JR東京駅（八重洲口）より徒歩約10分

■日比谷線 八丁堀駅より徒歩2分

【講師】

- ・百瀬則子氏
（SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長）
- ・志岐秀明氏
（SEF理事、株式会社ガイアドリーム代表取締役）
- ・牛久保明邦氏
（SEF顧問、東京農業大学名誉教授）

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

【対象者・定員】

食品関連事業者など、食品リサイクルに関心のある事業者
定員：各回20名（先着順、各回1社3名まで）

【参加費】

70,000円

※賛助会員（民間団体）は無料

※別途：見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

ご参加をご希望の方は下記リンクからSEFホームページをご覧ください。

<https://save-earth.or.jp/archives/6254>

9月22日(火)親子森林体験イベント ～千葉県山武市「日向の森」～

参加者募集中

来る9月22日(火・秋分の日)、千葉県山武市「日向の森」にて『秋の森を楽しもう！親子で森林体験 in 日向の森』と題した森林体験イベントを開催します。

昨年秋は台風による被害により、また今年春は新型コロナウイルスの拡大により開催を断念してきた本イベントですが、感染症対策に十分な注意を払ったうえで、プログラムを一部変更して実施いたします。

ヒントが書かれた紙を頼りにゲーム感覚で自然観察を楽しむ『森歩き』と、森を守り良い木材を育てる「林業」のお仕事を体験できる『山仕事体験』で、色づく秋を迎える日向の森と一緒に楽しみませんか？皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご参加下さい！

実施要項

- 日時 2020年9月22日(火)10時～12時
※少雨決行、雨天中止
- 会場 千葉県山武市市有林「日向の森」
- 定員 20名(先着順、最少催行人数8名)
- 参加費 お一人600円(森林再生サポーターは無料)
- 対象者 小学生以上
(未就学児のご参加については別途お問い合わせください)

申込

- SEFホームページ <https://save-earth.or.jp/archives/6590>
 - お電話／FAX／メールにて(本レター最終ページに記載)
- ※この企画は(公社)国土緑化推進機構「緑の募金」の支援を受けて実施します。

森林再生事業 活動報告

「緑と水の森林ファンド」助成事業に採択されました ～東御の森(長野県東御市)～

「東御の森」の中央を流れる所沢川の水は、古来地域の田畑をうるおす貴重な水源です。南向き斜面のこの土地は水不足に悩まされ、川の水を均等に分けるために江戸時代に設けられた「六分水柵場」の史跡が森内に現在も残されています。その一方で、森は川が氾濫しても流木や石が川下の集落まで流れ込まないように防ぐ役割も果たしています。自然観察と共に、森の多様な機能についての理解促進を目的として、SEFは東御市農林課や地域の団体等と共に、森での観察会(初夏と秋)、市の中央公民館での講座(2月・3月)を実施しています。少人数の企画ですが、観察会は森

の自然をゆっくり楽しめる、講座では森の樹木や野鳥、生態系について学べる、他にはない森林環境イベントとして、毎年開催を楽しみにされている人もいます。この活動は、昨年度に引き続き「緑と水の森林ファンド」助成金事業(公益社団法人 国土緑化推進機構)として採択されました。新型コロナウイルスの感染予防に十分な配慮と対策をとり、新たな様式も工夫しながら計画を立てています。イベント開催時には、SDGs 目標15(陸の豊かさを守ろう)およびSGEC森林認証についての情報提供もおこないます。



森での観察会



種子(タネ)の観察



観察の様子



野鳥の話



活動紹介



オニグルミの実

★森林環境イベント(観察会・講座)の様子は、公式FBで紹介いたします。

9月・10月 森林保全活動 のお知らせ ボランティア 募集中！



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたっては感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<9月・10月の活動予定>

●千葉県山武市

9月12日(土)、19日(土)、10月10日(土)、24日(土)

●大分県臼杵市

10月17日(土)

活動の詳細、お申込みはコチラをクリック

<https://goo.gl/uEt3CZ>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。
「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・
団体

会員特典

- ・食品リサイクルループ構築支援
- ・「企業の森づくり活動」支援
- ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導
- ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待

会員区分 年会費

特別賛助会員	1 □	500,000円
賛助会員	1 □	50,000円
資源循環サポーター	1 □	50,000円(資源循環事業に用途を限定)
森林再生サポーター	1 □	50,000円(森林再生事業に用途を限定)

個人

会員特典

- ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待
- ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行

会員区分 年会費

賛助会員	1 □	10,000円
資源循環サポーター	1 □	1,200円(資源循環事業に用途を限定)
森林再生サポーター	1 □	1,200円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

